

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新越谷校		
○保護者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 子供の成長、特性に合わせて楽しみながらできる支援を提供できる。 支援内容が固定化しないように、適切にいろいろな種類の支援を提供できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に合わせて本人が楽しみながら学習できるように、支援プログラムを組んでいる。 本人の好きなものも混ぜながら行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> その子の特性に合わせた支援プログラムを立てて、子どもがより楽しく通えるようにしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 相談したいことがあればすぐに相談できる環境が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方の表情やお話しの内容等を観察し、気になることがあればこちらからも声掛けができるように、配慮させていた 	<ul style="list-style-type: none"> 本人や保護者により寄り添った支援プログラムや相談支援ができるように考慮していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方へのフィードバックは毎支援ごとに実施しているが、お子様本人には伝わりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本人が遊んでいる合間に保護者の方へのフィードバックをしている。またはLINEを使ってフィードバックをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援中に本人に直接伝える機会を増やしていく。 出来る限りフィードバック中は本人に近くにいてもらえるように声掛けをする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラムの実施を現在のところ出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズはあり必要性を感じているが、実施に至っていない。 開催についての知識が足りない。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは3ヶ月に1回の実施を目指す。
3	<ul style="list-style-type: none"> 訓練の実施について、保護者の方へ周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 掲示の位置が分かりづらい。 SNSが周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 掲示の位置を工夫していく。 掲示物の内容を分かりやすいものにしていく。 SNS周知のためにLINE等で発信していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新越谷校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2024年 11月 30日 41名

回収数 25名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	4	1	1	集中できるように配慮してもらっている。	個々人の特性に合わせて支援スペースの場所を適宜変えられるようにしております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1	0	1		基準人員+加配人員で対応しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1	1	1	集中できるように配慮してもらっている。	出入口の段差は低くフラットに近い状況です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	2	0	0	集中できるように配慮してもらっている。	毎日朝に掃除をしております。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	0	3	子供の成長、特性に合わせて楽しみながら課題にに合わせて本人が楽しみながら学習できるように、支援プログラムを組ませてもらっている。	課題に合わせて本人が楽しみながら学習できるように、支援プログラムを組ませてもらっています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	3		公表については現在社内で準備中。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	0	0	1		社内標準アセスメントツールを活用し個別支援計画の作成に活かしております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	2	・毎回支援中の様子を詳しく教えていただいている。 ・できるようになったことや変化を子ども自身にフィードバックしてほしいと伝えているがそこが不明。	お子さん本人に出来た事に対して褒めたりアドバイスができるように心がけておりますが、より本人の気持ちに届くようにお伝えする工夫を考えてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0		計画に沿った支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2	0	2	適切にいろいろな種類の支援をいただいている。	指導員間でコミュニケーションを図り、固定されないよう工夫しております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	11	5	連携して何かをすることは難しそうとは思いますが、あれば参加したい。	地域連携の重要性を理解し、交流会等の機会を作れるように考えてまいります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1	0	0		契約の際、また質問を受け付けた際には丁寧に説明ができるよう心がけております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	2	0	0		追加の支援内容のご要望があった場合には、計画に入れる旨を説明し、必要に応じて計画の更新をしております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	7	7	今後あれば参加したい。	多くのニーズを伺っております。今後開催できるように日程を調整してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1	0	0		毎回の支援後のフィードバックの際に情報共有ができるよう声掛けを行っております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	5	3	1	相談したいことがある時はその都度相談ができています。	フィードバックのお話の内容により、こちらから相談支援のご提案をさせていただいております。また、保護者の方からご要望があった場合、都度対応しております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1	0	1		保護者の方のお悩みやニーズに寄り添って支援内容や計画を立てられるように配慮しております。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	12	6		現在は行っておりませんが、開催に向け検討・準備をしております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2	0	2		項目16と同様。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	0	0		毎回の支援後のフィードバックの際に情報共有ができるよう声掛けを行っております。また、必要に応じてLINEにて情報共有を行っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	4	1	6		きらりの休業についてやイベントの様子等、新越谷校のInstagramを中心に発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	2	0	0		個人情報を利用する際には保護者の方へ了承を取る事を徹底しております。(写真を含む)
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2	0	6	訓練が実施されているか不明。	重要事項説明書に記載の通り、毎月防災訓練を実施しております。入口の掲示、SNS等で実施について周知しておりますが、今後より周知できるように方法を考えてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	4	0	10		項目24と同様。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3	0	3		支援中や支援後の遊びの最中にも怪我をすることがないように、見守りの強化や怪我を防ぐ等の対策を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	3	0	4		万が一事故や事故に繋がりそうな事案が発生した際には、速やかに対応した指導員や管理者から保護者の方へお伝えできるように徹底しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0		今後も安心して通えるような環境づくりを続けてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	9	0	0	苦手な作業がある時は取り組むまでに時間がかかってしまう。 (本人の特性上)	楽しいこと、得意なこと、苦手なことを組み合わせ、支援プログラムを立てさせていただいております。より本人に寄り添った支援が出来るように考慮してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	3	0	0		今後も満足のいく支援を提供していけるように尽力しております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」新越谷校			公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	子供の支援内容や様子に合わせて受け入れ人数を調整するなど、その都度変更をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	基準人員+加配人員で対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	外が見えやすいので意識がそちらに向いてしまうことがある。	パーテーションを置き外が見えないようにする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日午前中に掃除をしている。また、支援が終わるごとに机や椅子のアルコール消毒をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	4	カーテンで仕切り個々人の場所を確保している。	クールダウンの場所がない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	週に1回、事業所内ミーティングを行い、情報共有・話し合いをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	定期的なアンケートを実施し、業務改善を図っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	週1のミーティングや不定期ではあるが管理者と指導員の面談で意見交換・把握ができています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	発達支援研究所との連携を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月に1回の発達支援研究所主催の研修、本部・人事部主催の法定研修、その他、地域ごとの事業所間での研修等が実施されている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	職員一人一人がお子様の特性を理解し、適切な支援プログラムが提供できるように心がけている。	公表については現在社内で準備中。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	社内でも共有されているアセスメントシートを活用し個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	モニタリング会議を実施し、指導員の意見も聞き個別支援計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	お子様個人の支援ファイル(かご)に最新の個別支援計画を入れている。また、出来上がった原案を指導員に共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	社内でも共有されているアセスメントシートを活用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	保護者の方にニーズを再確認し計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	指導員間での共有を常時行っている。また週1のミーティングを行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	お子様の状況を適宜共有し徐々にステップアップできるように、指導員間でコミュニケーションを密に行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	個別支援へのニーズが高いが、小集団を不定期で実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	通常のコミュニケーションの中での情報共有、週1ミーティングの中で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	支援当日の共有は難しいところはあるが、早めの共有を心がけている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援記録を適切に残し、以前の支援の記録を参考に継続した支援を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	モニタリングを行う際に保護者の方へニーズの再確認を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	季節に合わせた創作やゲーム等を支援の中に取り入れている。	地域交流の機会はなかなか設けられていないため、今後企画していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	常にお子様の声に耳を傾け寄り添うように心がけている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	・相談支援事業所等から担当者会議の参加要請があった際に対応している。 ・相談支援事業所からの電話でのモニタリングは協力している。	・実際に関係機関等に足を運んでのサ担会には参加できていない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		今後地域連携ができるよう働きかけてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	3	保護者の方を介して情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	保護者の方の希望により実施。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	保護者の方の希望により実施。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		現在行っていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		現在行っていないが調整していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		参加機会があった際には参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	支援後のフィードバックや家族支援面談を行い、保護者の方との情報共有を行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		現在行っていないが、今後調整していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時、または変更時に読み合わせ・説明を行い、適宜質問を受け付けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	支援後のフィードバックやモニタリング、家族支援面談の際に確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	計画更新時に支援内容と支援目標の関係性を説明し同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	家族支援面談や支援後のフィードバック時に相談を受け、傾聴・助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	4		現在は行っていないが、今後調整したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	保護者の方とのコミュニケーションも密に行い、苦情に繋がらないように努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ブログやInstagram等のSNSにて開催したイベントや今後の予定等を周知している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	終業時には鍵付きの場所へしまい退動している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	障害特性や保護者の方の意向等を踏まえ、適切な対応を心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		地域交流の機会はなかなか設けられていないため、今後企画していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		保護者全ての方への周知が出来ていないため、今後方法を考えていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的な研修・訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	服用している薬やアレルギー等の確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			※食事提供なし。 アレルギーについての聞き取りはしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		保護者全ての方への周知が出来ていないため、今後方法を考えていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		同上。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	月1件のヒヤリハット報告書の作成を絶対とし、事故に繋がらないように対策を立てている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	本部人事部主催の法定研修、事業所内研修で対応している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	指導員の意向も考慮し、保護者の方への十分な説明を行い同意を得た方のみ身体拘束を行っている。		